

第三評価結果（児童養護施設）

※すべての評価細目（共通評価基準 45 項目・内容評価基準 41 項目）について、判断基準（a・b・c の 3 段階）に基づいた評価結果を表示する。

※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

共通評価基準（45 項目）

評価対象 I 養育・支援の基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	b
<コメント>理念や基本方針はパンフレットや広報誌、ホームページ等に明記されているが、子どもや保護者等に分かりやすく説明したものを工夫し準備するなどの、周知を図る取組が不十分と判断し、b 評価とした。		

I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	I-2-(1)-① 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b
<コメント>施設経営をとりまく環境と経営状況の把握は行われているが、その内容の職員への周知や分析等の取組については十分ではないと判断し、b 評価とした。		
3	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	b
<コメント>施設経営に関する具体的な取組課題や問題点を、職員を含めた組織全体に周知し、共有する取組が不十分と判断し、b 評価とした。経営者・役員・施設長はもとより、職員への経営課題の周知や、意見聴取を図られたい。		

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	c
<p><コメント>施設長には漠然としたイメージとしての計画はあるものの、数値目標や具体的な成果を設定するなど、組織としての中・長期計画の策定は確認できなかったため、c評価とした。</p>		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	c
<p><コメント>前項で明確な中・長期計画が確認できなかったため、c評価とした。</p>		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b
<p><コメント>単年度事業計画は策定されているが、職員の参画・理解のもとでの組織的な取組による策定とするには不十分と判断し、b評価とした。</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、子どもや保護者等に周知され、理解を促している。	b
<p><コメント>子ども集会議事録によると、行事予定等は子どもに周知され、参加を促している。しかし、事業計画の主な内容を子どもや保護者等へ分かりやすく説明した資料の作成や、より理解しやすくするための工夫については不十分と判断し、b評価とした。</p>		

I-4 養育・支援の質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 養育・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b
<p><コメント>前回の第三者評価の結果を踏まえ、養育・支援の質の向上に取り組んでいる。しかしながら、それらの結果を分析し、実施状況を評価し、必要に応じて見直すなどの組織的な取組はまだ十分ではないと判断し、b評価とした。</p>		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b
<p><コメント>課題の改善への取組として、衛生面ではペーパータオルを導入するなどしている。しかし、評価結果に基づく課題についての文書化や職員間での共有はまだ不十分と判断し、b評価とした。</p>		

評価対象Ⅱ 施設の運営管理

Ⅱ-1 施設長の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 施設長の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	b
<p><コメント>施設長は志を持って自らの責任と役割について会議等で表明しているが、それらの広報誌等での文書化についてはやや不十分と思われる。有事における自らの役割と責任について、また不在時の権限委任等に関しても明確化されたい。よって、b評価とした。</p>		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	b
<p><コメント>施設長は遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。しかしながら、職員への遵守すべき法令等の周知や具体的な遵守の実施については不十分と判断し、b評価とした。</p>		
Ⅱ-1-(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。		
12	Ⅱ-1-(2)-① 養育・支援の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	b
<p><コメント>施設長は自らの支援現場体験等をもとに、スーパーバイザーとして養育・支援の質の向上に意欲を持ち、その取組に指導力を発揮している。それらをなお一層組織的な取組とし、個々の職員の実践や意見を反映するなどの体制づくりに向けた、施設長の更なる指導力を期待し、b評価とした。</p>		
13	Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	b
<p><コメント>施設長は経営の改善や業務の実行性を高めるために自らこれらに取り組み、その指導力を発揮している。しかしながら、職員を含めた組織全体としての、効果的な事業運営を目指す取組への指導力の発揮についてはまだ不十分と判断し、b評価とした。</p>		

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b
<p><コメント>実習生の専門職種の特性に配慮したプログラムを用意するなど、必要な福祉人材の確保・育成に取り組み、人員体制についても計画を持って取り組んでいる。しかし、より具体的で明確な計画が求められると判断し、b評価とした。</p>		

15	Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	b
<p><コメント>施設長との面談等を通じて、職員に対し「期待する職員像」を明確にしている。しかし、採用・配置・育成・報酬・評価等の総合的な人事管理の実施は不十分と判断した。また、職員が自らの将来を描くことができるような、将来を展望した総合的な仕組みづくりも、これからの課題であると判断し、b評価とした。</p>		
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	b
<p><コメント>職員の就業状況の把握に努め、時間外労働時間の改善に取り組んでいる。また、就業状況や意向を把握するために職員へのアンケート調査を実施しており、それを基に施設長との個別面談を行うなどしている。しかし定期的ではない。また、職員の悩み相談窓口の設置やメンタルヘルスケアへの取組等も十分ではなく、職員の働きやすい職場づくりへの取組としては不十分と判断し、b評価とした。</p>		
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	c
<p><コメント>「期待する職員像」は明確にされているが、職員一人ひとりについての育成に向けた目標設定は確認できなかったため、c評価とした。</p>		
18	Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b
<p><コメント>3年間の研修計画は策定されているが、それらに基づく教育・研修の実施や定期的な計画の評価と見直し等については不十分と判断し、b評価とした。</p>		
19	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	b
<p><コメント>職員一人ひとりの教育・研修の機会は確保されているが、中堅職員の研修参加が少ない状況にある。また、研修参加後の報告書に、研修に関する感想や評価、分析や今後の課題等の項目を設定されたい。研修報告は組織として情報共有し、より有効に活用されたい。よって適切に職員教育・研修が実施されているとするには不十分と判断し、b評価とした。</p>		
Ⅱ-2-(4) 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の養育・支援に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b
<p><コメント>実習生受け入れマニュアルを整備し、ソーシャルワーク実習や保育士実習等の専門職種への育成にも取り組んでいる。しかし、実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成についての体制は不十分と判断し、b評価とした。</p>		

II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b
<p><コメント>パンフレット、広報誌、ホームページ等で情報公開をしており、また、地域や学校等に対しては入学時の説明会等でも説明を行っている。しかし、苦情や相談に関する対応・改善についての公表は不十分と判断した。さらに、ホームページの更新や地域への広報誌の配布等にもなお工夫が必要と思われると判断し、b評価とした。</p>		
22	II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	b
<p><コメント>事務、経理、取引等に関する職員への周知は、職員への聞き取りからやや不十分と判断した。また、施設における内部監査は定期的を実施されているが、公認会計士等による指導等に基づく経営改善への取組は実施していないので、b評価とした。</p>		

II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a
<p><コメント>地域の行事や活動に積極的に参加したり、施設を開放したりすることで、常に地域とのコミュニケーションを心掛けている。子どもと地域との交流を広げるための取組に意欲的であり、地域との関係は適切に確保されていると判断し、a評価とした。ボーイスカウト等の活動や日韓青少年交流等にも積極的である。</p>		
24	II-4-(1)-② ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b
<p><コメント>ボランティア受け入れマニュアルを整備し、地域の人々や学生の受け入れを積極的に行っている。しかし、ボランティア協力に関する事前説明や実施状況の記録についての記載がない。また、トラブルや事故を防ぐためのボランティアへの研修等に関する説明についても不十分と判断し、b評価とした。</p>		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	II-4-(2)-① 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	b
<p><コメント>社会資源を明示したリスト・連絡先一覧を作成し、地域、や他施設等との連携・ネットワーク化に取り組んでいる。しかし、リスト等の内容の見直しが不十分である。また、関係機関・団体との定期的な連絡会の開催等については今後の課題であると判断し、b評価とした。</p>		

Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	Ⅱ-4-(3)-① 施設が有する機能を地域に還元している。	a
<p><コメント>地域交流スペース等を活用し、地域の福祉向上のための多様な取組を行っている。また、地域の子どもを対象とした講演会を開催したり、他の団体と連携し外部講師等を招いた講演会・研修会を開催したりしている。施設機能の地域還元には積極的であると判断し、a評価とした。</p>		
27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b
<p><コメント>地域・学校・行政と連携して地域の福祉ニーズの把握に努めているが、把握したニーズに基づく公益的な活動の実践については不十分であると判断し、b評価とした。</p>		

評価対象Ⅲ 適切な養育・支援の実施

Ⅲ-1 子ども本位の養育・支援

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 子どもを尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した養育・支援提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	b
<p><コメント>手引書「この子を受けとめて、育むために」(全国児童養護施設協議会出版)を全職員に配布し、子どもを尊重した養育・支援の提供に努めている。しかし、研修会等により職員への周知や理解を進めるための取組は不十分であり、個々の養育・支援における実践も十分とは言えないと判断し、b評価とした。</p>		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した養育・支援提供が行われている。	b
<p><コメント>子どものプライバシー保護に関する規程・マニュアルは整備されている。しかし、子どもたちへの「権利ノート」の活用はあるが、職員に対する虐待防止等の権利擁護に関する規程・マニュアルの整備は不十分と判断し、b評価とした。</p>		
Ⅲ-1-(2) 養育・支援の提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 子どもや保護者等に対して養育・支援選択に必要な情報を積極的に提供している。	b
<p><コメント>子どもや保護者等は、特に入所初日のことはよく覚えているので、その不安に寄り添うことが大事であるとの認識のもと、入所に際しては丁寧に情報を提供している。しかし、その際に示す資料については適切な見直しが必要と判断し、b評価とした。</p>		
31	Ⅲ-1-(2)-② 養育・支援の開始・過程において子どもや保護者等にわかりやすく説明している。	c
<p><コメント>特に子どもは入所時のことをよく記憶しているということに配慮して、分かりやすく工夫して説明している。しかし、意思決定の困難な子どもや保護者等に配慮することについてはルール化されておらず、また説明した内容を書面で残していない等のことから、c評価とした。</p>		

32	Ⅲ-1-(2)-③ 措置変更や地域・家庭への移行等にあたり養育・支援の継続性に配慮した対応を行っている。	b
<p><コメント>措置変更や移行時の対応に関しては、引継ぎの際に養育・支援の継続性に配慮した、組織としての手順や引継ぎ文書等は定められておらず、養育・支援の継続性に配慮した対応としては不十分と判断し、b評価とした。</p>		
Ⅲ-1-(3) 子どもの満足の向上に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a
<p><コメント>意見箱の設置や子ども集会の開催、嗜好調査（年1回）の実施等を通じて子どもの満足の向上に関する仕組みが整備されており、それらによって把握した意見・要望等の結果の分析や検討、具体的な改善に取り組まれていると判断し、a評価とした。</p>		
Ⅲ-1-(4) 子どもが意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b
<p><コメント>苦情解決の仕組みは確立している。常に職員が子ども目線で接し、言葉づかいや日常業務を丁寧にする姿勢を示すことで、相談しやすい体制づくりを行っている。しかし、子どもや保護者等への分かりやすい説明や資料提供による周知には工夫する余地があると判断し、b評価とした。</p>		
35	Ⅲ-1-(4)-② 子どもが相談や意見を述べやすい環境を整備し、子ども等に周知している。	a
<p><コメント>意見箱が設置され、十分機能しており、子どもが相談や意見を述べやすいよう、わかりやすく説明した文書が掲示されている。また、子どもの不安や苦情を聞くための相談スペースも確保されている。これらのことにより、a評価とした。</p>		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 子どもからの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b
<p><コメント>子どもからの相談や意見等には、組織的かつ迅速に対応している。検討に時間がかかる相談の場合でも、いじめや暴力等の場合には速やかに対応している。しかし、関係マニュアル等の定期的な見直しについては不十分と判断し、b評価とした。</p>		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な養育・支援の提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な養育・支援の提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	b
<p><コメント>リスクマネジメントに関する責任者が決められていない。また、子どもの安全と安心を脅かす事例の収集が積極的に行われていないなど、リスクマネジメント体制の構築は不十分と判断し、b評価とした。</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	b
<p><コメント>看護師を配置し感染症対応マニュアル等を策定するなどして、安全確保のための体制は整備されているが、勉強会等による職員への周知徹底が十分ではないと判断し、b評価とした。</p>		

39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	b
<p><コメント>災害時の対応体制は整備されている。小・中・高の子どもの役割分担も明確化され周知されている。また、地域の防災訓練にも参加している。加えて、備蓄リストを作成し、栄養士を管理者とし備蓄を整備している。地震や豪雨等の災害に対する訓練が不十分なことや、安否確認の徹底、より一層の地域との連携体制強化の取組を期待し、b評価とした。</p>		

Ⅲ-2 養育・支援の質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する養育・支援の標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 提供する養育・支援について標準的な実施方法が文書化され養育・支援が提供されている。	b
<p><コメント>「日常業務ガイドライン標準マニュアル」等により、標準的な実施方法は文書化されている。しかしながら、職員への周知徹底については不十分と判断し、b評価とした。なお、全体に共通して、規程やマニュアル等の一部改正等をした時は、いずれの場合も改正年月日を記載されることを提案する。</p>		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b
<p><コメント>子ども集会等での意見や提案を見直しに反映させるための仕組みはできており、養育・支援の標準的な実施方法についての検証・見直しも処遇会議、主任会議、職員会議等で行っているが、その実施時期等については不明確であると判断し、b評価とした。</p>		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより養育・支援実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく個別的な養育・支援実施計画を適切に策定している。	a
<p><コメント>アセスメントは適切に実施されている。また、児童自立支援計画票にはアセスメント結果が反映され、個々の子どもの具体的なニーズが明示されている。支援計画も様々な職種との合議や連携により適切に策定されており、増加傾向にある支援困難ケースについても学校等他機関と連携し、よく対応している。これらを総合的に判断し、a評価とした。</p>		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。	b
<p><コメント>年2回、定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っているが、子どもの意向把握等が不十分であり、評価・見直しの手順については課題があると判断し、b評価とした。</p>		
Ⅲ-2-(3) 養育・支援実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する養育・支援実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化している。	b
<p><コメント>ケース記録等は統一した様式により記録されており、それらについて朝礼等で確認している。しかしながら、職員間で記録内容や書き方に差異があり、養育・支援実施状況に関する情報共有については不十分であると判断した。また、パソコンのネットワークを活用した情報共有の仕組みについて現在整備中であるとのことであり、b評価とした。</p>		

45	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	b
<p><コメント>記録管理の責任者は施設長としている。子どもに関する記録の管理体制は整っているが、記録の管理に関する職員への教育や研修の取組はこれからである。管理体制を確立し、個人情報の取扱いを組織内で徹底されたい。これらの判断から、b評価とした。</p>		